

以下三ツの名進駐セリ

六十月一日現在掃海進捗状況

一豊後水道(伯防及米側協力)

四 大椽雷堰十月二十三日米側ニ依リ完了(處分概數十九日現在一五〇〇)

四 大島由良崎ヲ通ズル線以北海面我方ニ依リ二十日完了(處分カ)

四 米側掃海後ノ大椽雷堰ニ対スル我方確認掃海土月一日開始完了期日未定

六宮崎沖有明海核雷堰

前四項作業ト併行土月一日開始土月未定完成予定

三 松山港海域(徳防)

米軍松山進駐ニ先立テ実施セル本掃海十月二十日終了

(處分カ) 艦船融雷ナシ

四 廣島灣第一掃海水路及吳軍港内(吳防徳防及一部米側協力)十月二十六日終了(處分カ)

五 国防難(徳防及下防)

米側ノ要求ニ依ル遠吸瀬戸ヨリ徳山灣ニ至ル水路(橋

一〇〇〇米)及徳山灣内掃海十月三十日開始十月十四日概成ノ予定

六 関門(下防)

下防命令第四号(別途送付)計畫ニ基キ実施中

第一段ヲ概成期日十月二十日ノ見込

七 島根海面(仙警)

(1) 仙崎湾水路 十月十九日終了

(2) 浜田港水路 十月二十七日終了

(3) 萩湾水路 十一月五日終了ノ見込

十月二日(金)晴

六〇〇〇 ハービス中佐以下五五〇名徳島着小松島進駐

五〇〇〇 海二八号 廣瀨入港(マニラヨリ原島經由)四日吳着

五〇〇〇 長官サイバー 陸軍少将訪問

一十月一日現在ニ於テハ吳鎮守府下進駐軍配備左ノ通

進駐地 兵力 補給名(指揮官名) 順

(一) 吳 約九〇〇 第十軍司令部(サイバト少将)

一六三聯隊(ラニキ大佐)吳基地隊(ウヰリ少将)

四廣 約九〇〇〇 第四十師團司令部 (トウ少将)

一六三聯隊 (コネイ大佐) 第十軍團砲兵隊、第十
 巡洋艦戰隊 (リッダス少将) 第十水陸兩用部隊
 (ロシヤース少将)

(一) 海田市 約三五〇〇 一八六聯隊 (サイバート大佐)

(二) 岡山 約五〇〇〇 (ゴート代将) 二聯隊 砲兵五二
 大隊

赤松山 約二二〇〇 第十師團司令部 (カトドラ少将)

一九聯隊、三四聯隊、工兵聯隊、砲兵一一三、
 六三大隊、医務隊四、中隊

(三) 防府 約八五〇 一八八聯隊 (第三十三師團) (ラカー大佐)

(四) 下関 約一三〇〇 (第三十二師團) (レトト少佐)

(五) 門司 約五〇〇 (第三十二師團) (ワトソン中佐)

(六) 江田島海軍兵學校 約五〇〇 (病院關係者)

六門司岩松地五陸上關係正式引渡終了

三米第四十師團八十月三十一日ヨリ松山基地ノ兵器接收ヲ
 開始セリ

四米第四十師團第一六二聯隊 福山ニ進駐

十月三日(土)晴 明治節

〇六〇〇 松江ニ米軍進駐開始

一六三特陸關係兵器調査開始

二米第四十師團一六二聯隊バリス、中尉大社基地着齋
 査開始

三米第四十師團第一六二聯隊フーデリック大佐以下約
 一〇〇〇名尾道進駐

十月四日(日)晴

〇七三〇 海防艦60150号兵隊奉廣ニテ燃料補給後復員輸送
 (マニラニ向フ)

一五〇〇 長官サイバート少将以下第十軍團司令部職員ヲ茶會
 招待ハテ三三三部)

事件

一十月二十八日米第四十師團第一六二聯隊福山空進駐ニ
 際シ同地水道電灯ノ故障及同隊自動車運轉不
 能等理由ニ因リ進駐部隊ノ感情ヲ害シ居ル旨現地ヨ
 リノ報告ニ接セルヲ以テ高橋中佐ヲ派遣之ガ対策不ヲ

講シツツアリ
 十一月四日一ラック六軍港秋月破泊中ノ軍艦龍鳳ハ米
 海軍將校以下約六十名ニ依リ十三七糧高前砲照直下
 望遠鏡外多敷ノ物ヲ窃取セラレハ本件米海軍ニ
 申ハレシ

0470

陸軍連絡中央事務局
 陸軍總務部

吳編第三五八號

昭和二十年十一月二十六日

吳編週報第一號

自二〇一三二一八
至二〇一三二二八

吳鎮守府

0471

理處件物渡引及收接	外 交 涉	對	旨 要
<p>一、四國地區ノ接收並兵益需品ノ處理ハ極メテ順調ニ進歩シ十一月二十 二日迄ニ全部完了セリ</p> <p>三、岡山縣、島根縣、鳥取縣、接收ナシ</p> <p>四、廣島縣接收率約三五%</p> <p>五、兵隊大原分校ヲ廣島文藝大學ニ使用ニ關シテハ交渉停頓シアリシモ 現地交渉ノ結果順調ニ進歩シツツアリ</p>	<p>本件人員既ニ解員ノ爲大ナル困難アルモ極力整備ニ努ムル旨回答 人員ハ復員収容部及艦船ヨリ抽出シ二十一日ニハ所要ノ舟艇ヲ二 十三日ニハ曳船ニ變テ整備セリ</p> <p>三、掃海艇ノ小銃ニ關スル件 二十日海六七號無斷出港松山ニテ督促セラレ爾々同艇ニ搭載セル機 雷處分用ノ機銃、小銃、同彈藥ニ關シ詰問セラレタリ 本件機銃ニ關シテハ正式ノ許可アリタルモ小銃ニ關シテハ「ラウド」 大佐ノ承認ノミニシテ正式ノ許可ナカリシヲ以テ折衝ノ結果掃海艇 艇ニハ機雷處分用トシテ機銃二挺同彈藥二〇〇〇發、小銃七挺同彈 藥六〇〇〇發搭載ノコトニ指令セラレタリ</p>	<p>一、曳船及艇ニ關スル件 (イ) 曳船及「パイチ」ニ關シ米海軍、陸軍ト打合せアリ米海軍ハ米陸 軍ノ現使用中ハ外ノモノヲ使用ノコトトナル (ロ) 米海軍ヨリ十一月二十一日迄ニ曳船一隻「パイチ」四隻ヲ十一月 二十三日迄ニ曳船成可多數整備ノ要求アリ</p>	<p>一、終戦事務ハ圓滑ニ實施セラレツツアリ (イ) 掃海用海防艦ガ小銃及彈藥匣ヲ搭載セル件ニ關シ米側ヨリ抗議ア リシモ圓滑ニ解決セリ (ロ) 兵學校大原分校ヲ廣島又理大學ニ使用ノ件ハ現地交渉ニ依リ概ネ 解決セリ (ハ) 大竹、若國地區ノ掃海ハ米側ト現地交渉ニ依リ十日以後吳防ニテ 實施擬成シタルヲ以テ二十日以後ノ特別輸送艦船ハ大竹(宇品) ニ入港ノコトトナレリ (ニ) 特別輸送艦船ノ修理ハ概ネ順調ニ進歩中吳工廠ノ現地ニ於テ全幅 使用シ葛城八十日三號船渠ニ入渠三十日出渠ノ豫定 (ホ) 宮崎沖、豊後水道、周防灘、關門附近ノ掃海ハ計畫通員實施中 三、其他事件事故ニシテ特記スベキモノナシ</p>

復員關係		特別輸送		航運		狀況																														
<p>十一月二十日以降鹿兒島編着隊定ノ特別輸送艦ハ大竹ニ入港復員者ヲ収谷スルコトナル</p> <p>十一月二十四日現在員</p> <p>(1) 艦上</p>		<p>一五八一〇名</p> <table border="1"> <tr> <th>士官</th> <th>准士</th> <th>下士</th> <th>兵</th> <th>軍屬</th> </tr> <tr> <td>五〇三</td> <td>二八四</td> <td>二六一</td> <td>三〇二</td> <td>九一四七</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一、一四八</td> <td colspan="3">九六一五</td> </tr> </table>		士官	准士	下士	兵	軍屬	五〇三	二八四	二六一	三〇二	九一四七	一、一四八		九六一五			<p>六三五八名</p> <table border="1"> <tr> <th>士官</th> <th>准士</th> <th>下士</th> <th>兵</th> </tr> <tr> <td>三六一</td> <td>一六七</td> <td>一五〇</td> <td>三四五八</td> </tr> <tr> <td colspan="2">六七八</td> <td colspan="2">一、四八〇</td> </tr> </table>		士官	准士	下士	兵	三六一	一六七	一五〇	三四五八	六七八		一、四八〇		<p>三四國方面ノ部隊ハ二十四師ノ要求ニ依リ十一月二十二日迄ニ全員解</p>		<p>員セリ</p>	
士官	准士	下士	兵	軍屬																																
五〇三	二八四	二六一	三〇二	九一四七																																
一、一四八		九六一五																																		
士官	准士	下士	兵																																	
三六一	一六七	一五〇	三四五八																																	
六七八		一、四八〇																																		
<p>一、出港輸船</p> <p>(1) 「マニラ」行九隻</p> <p>(2) 北大東島 一隻</p> <p>(3) 北大東島 一隻</p> <p>計十一隻</p>		<p>二、入港輸船</p> <p>(1) 「マニラ」ヨリ七隻</p> <p>(2) 北大東島ヨリ 一隻</p> <p>計八隻</p>		<p>三、入港輸船</p> <p>一八日 宵月(回島)</p> <p>一九日 高根(占部)、海二〇七(玉)、海八(回島)、林(因島)</p> <p>二三日 海一三二</p> <p>四、出港輸船</p> <p>一九日 海四四</p> <p>二四日 海八、高根、宵月</p> <p>五、外地ヨリノ遠送人員</p>		<p>六、出港輸船</p> <p>(1) 「マニラ」行九隻</p> <p>(2) 北大東島 一隻</p> <p>(3) 北大東島 一隻</p> <p>計十一隻</p>																														

及備通糧衣 費經計會	故 事 件 事	況 狀	海 掃	
<p>十二月十五日迄ニ復員者用トシテ陸軍ヨリ被服二〇〇〇〇〇着ルコトニ交渉成立セリ</p>	<p>二十一日海七六無断山榭松山ニテ捕促セラレテ小銃搭取ノ件問題化ス 二十三日兵學校大原分校ニ於テ米軍火藥庫理中ノ轟撃内ニ於テ掃海 機四機失事附近進行中ノ少年二名斃死セリ 最近諸品ノ發難頻繁ニシテ軍需部十件ノ海仁會一件ノ被害アリ</p>	<p>三其、他 (イ) 二十一日米側ニヨリ宇品沖(屋形石燈台三四九度七〇〇米ヲ通ズル三五二度線ノ左右五〇〇米)掃海完了 (ロ) 海七六、一〇四、一五四松山ニ於テ小銃搭取ノ爲問題ヲ惹起セルモ折衝ノ結果爾今掃海艇ハ統二、同彈架二〇〇〇發、小銃七、同彈架六〇〇〇發搭取ヲ許可セラレタリ (ハ) 第四日立丸ヲ掃海ニ使用スルコトニ關シ米軍ヨリ申入アリタル事中央ヨリ指令ナキ爲同船長ヲ上京ニ絡セシメタリ</p>	<p>一、掃海員施區域 (イ) 大竹、岩國地區 二十日大竹A地區掃海完了二十三日ヨリ同B C D地區開始 (ロ) 徳山地區 二十二日周防藩第一航路掃海中一〇〇〇米ニ擴張中 (ハ) 豊後水道 清掃中 (ニ) 宮崎沖 第六、第七機雷ノ北半分終了</p>	<p>海軍 四八五 陸軍 三一五 計一〇二六名 一般民人 二二六 六其、他 (イ) 十一月二十日以降鹿兒島入港隊定ノ艦船ハ大竹(宇品)ニ入港ノコトトナレリ (ロ) 海一九四機關故障ノ海一五八發電機故障ノ爲何レモ「マニラ」輪送ノ途次引返セリ</p>

陸軍部

吳連第一六號

昭和二十一年一月二十日

銘戰連絡中央事務局

銘戰連絡中央事務局局長

終連 21.1.26 秘書課

21.1.25

A:1-0-0-2

陸軍部 台領ニ関スル件

本件ニ関シ二十日 本官が六名ヲ成ル高北塚州軍
老遣隊長マクギーソン大佐 (Mcgowan) ヲ今次台領軍ノ
編成及兵力配置等ニ付得タル情報左ノ通り
台領軍ハ豫該國ニシテトシテ旅團及英印旅團ノ二部
ヲ編成シテ總兵力約四萬ニシテ大體来月初旬ヲ進駐
ヲ開始シタリ是ニ約一月ヲ要スル見込ニシテ概テ從來米
軍ノ駐屯セシ地域ニ進駐スルモノ、如ク其ノ内陸軍兵力ノ

配置状況左ノ通り

吳八千、廣九千、江田島海田市各四千五百計九千

福山尾道各約二千計約四千、以上合計一三萬

高宮軍兵力ハ約四千ニシテ他ニ海軍兵力ヲ有ス

今次台領軍ノ進駐ニ伴フ豫、米台領軍管轄權ニ関シ

テハ目下ノ處 軍政ハ大體米軍ニ委任スルモノ、如ク又

豫台領軍ノ台領管轄地域ハ廣島縣ニシテ島根縣ニハ

觸レ居ラス

終戰連絡部一乘

吳連第一八號

昭和二十一年一月二十一日

終戰連絡吳事務局局長

終戰連絡中央事務局總裁殿



21.2. 秘

21.2. 5

松本君

二七

A-1-0-0-2

進駐聯合軍兵力配置二開三件

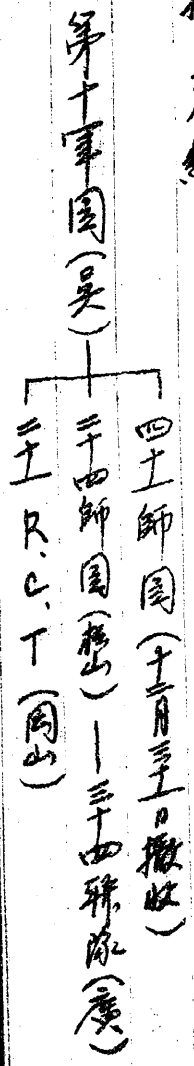
本件二開一月十二日附絡總一普通合第一。號
貴信ヲ以テ御末示ノ趣敬承一月二十日現在當
事務局管轄区域内ニ於ケル兵力配置状況概要左
記ノ通ナルニ付右御了承相成度此致報告ス

記

一 配置表

府地名	駐在地	軍團別	師團別	隊別	兵力數	所屬	司令官名	備考
廣島	吳	第十軍團		八八八 (ASCOM)	三〇〇	吳	Col. Clendon	
"	吳			身重四隊、二々中隊	五〇〇	隊原本部	Col. Hamilton	
"	廣			古、一中隊	七〇〇	隊原本部	Col. Whelan	
岡山	岡山			三十一、二、R.C.T	四〇〇		Col. Mc Kay	
島根	松江			一、R.C.T	五〇〇	隊原本部	Lt. Col. Gilson	
鳥取	鳥取			二、R.C.T	一五〇			
米子	米子			一、R.C.T	一五〇			

二 指揮系統



備考

英ハ一々(基地隊)ハ第一八軍ニ屬スル ASCOM. C
又三田師ハ目下岡山ニ移動シツツアリ

(徐四郎)

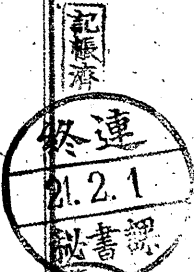
至急 終戦連絡部一課

吳連第一九號

昭和二十一年一月二十九日

終戦連絡吳事務局

終戦連絡中央事務局總裁殿



終戦二部

松本君

英海軍ノ進駐ニ関スル件

目下當地ニ英海軍「マクゴワン」工兵大佐以下数名ノ將校到着シ英海軍進駐ニ関スル諸準備ヲ進メ居ルカニ于テ同日大佐ノ内話ニ依リハ先遣隊ヲ英海軍約百五拾名ハ近日空輸ニ依リ到着シ他ニ海上輸送ニ依リ毎週ニ三船宛來着ス（英海軍ノ進駐完了ハ新西蘭軍力歐洲ヲ輸送セラルル關係上概テ三月末ノ見込ナル趣ナリ）尚英海軍司令官「ハースコット」中將ハ印度ヨリ且英海軍ハ

A-1-0-0-2

海軍

引返シテ援日スル豫定ニテ吳到着ハ恐ラク二月下旬トナル
ヘントノキトナリ

海軍

至急 吳連第一隊

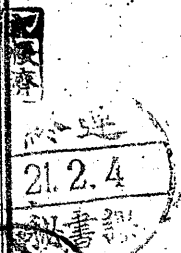
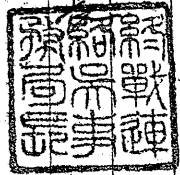
吳連第一二號

昭和二十一年一月三十一日

吳連第一

給教連絡吳奉務局

給教連絡中央事務局總裁殿



0482

吳連第一

豫軍先遣隊進駐ノ件

本日豫軍先遣隊員ノ談ニ依リ豫軍部隊ハ
岩國ニ進駐スル趣ナリ右不取敢報告ス

A7.0.0.2

豫軍

寫

終戰連絡局長
中務省

吳連第三二號

昭和二十一年二月二十一日

終戰連絡吳事務局長

終戰連絡松山出張所長殿



英聯邦軍進駐等ニ関スル回答ノ件

二月二十四日附松連出第一號御來照ノ英聯邦軍
四國進駐說ニ関シ高事務局ニ於テハ英聯邦軍
占領地域ハ將來島根山口兩縣ハ擴大セラルル可能性
アル由反聞ニ居レルモ四國ハ進駐ニ付テハ未タ何等
開知セサルニ付右様御了知相成度
高英涼艦隊ニ関スル諸事項ハ目下ノ處不明ナルモ判
明ノ節ハ通報可致

外務省

0484

本信寫送付克
中央事務向總裁、高松事務局長

外務省

0483

終戦連絡中央事務局

岡連才一六揮

昭和二十一年三月七日

終戦連絡岡山事務局

連絡官 井澤 吉



終戦連絡中央事務局

総裁 吉田 茂 殿

岡山縣進駐受入本部規程送付ノ件

岡山縣廳ニ於テ「客年十月聯合軍進駐當時進駐受入本部ヲ設置シ関係各部課員ヲシテ本部員兼任ヲ命ジテ執務シ来リし処ニ各職員ニ本部勤務ヲ命ジ居ラレシ存

A/1.0.0.2

サイン用

勤務率ノ頗シ悪ク事務滞滯シ困難シラシニ本規程ハ一ト
ニ責任者ヲ有スル機関ヲ設置スルニアラセハ能率上重要ナキ
事態生ズルニ至急何等カ改善方法ヲ講セラレシメ
屢々進言シ置キシカ今般受入本部ノ制度ニ其儘存置
スルニ更ニ本部改ニ内務部長ヲ局長トシ陸外事務局ヲ
設テ各課課ノ事務ノ調整ト責任ノ帰趨ヲ明カニスルコト
ナリ二月二十三日別添ノ通り本部規程ヲ改訂即日実施シ
ニ付右御参考迄茲ニ送付ス

サイン用

井川運信官殿

岡山縣進駐受入本部規程

第一條 進駐軍受入ニ關スル事務處理ノタメ縣廳内ニ岡山縣進駐受入本部(以下本部ト稱ス)ヲ置ク

第二條 本部ハ岡山地區進駐軍受入連絡委員會ト密接ナル連絡ヲ保持シ進駐軍受入ニ關シ其ノ事務處理ノ萬全ヲ期スルモノトス

第三條 本部長ハ知事之ニ當リ部務ヲ統理ス

第四條 本部ニ左ノ部ヲ置ク
總務部、教育民生部、物資部、保安部、土木部

第五條 各部ニ部長及部員ヲ置ク
總務部長ニ内務部長ヲ、教育民生部長ニ教育民生部長ヲ、物資部長ニ經濟部長ヲ、保安部長ニ警察部長ヲ、土木部長ニ土木部長ヲ以テ之ニ充ツ

第六條 進駐軍ト、連絡、進駐軍ヨリ物資其他ノ要求アリタル場合ノ主務課ハ、連絡、本部内各係間、連絡、文書、編年、通譯、配置、指揮監督及其ノ賞罰等ヲ掌ルタメ縣廳内ニ渉外事務局ヲ置ク

局長ハ内務部長ヲ以テ之ニ充ツ
次長及局員ハ縣廳職員中ヨリ知事之ヲ任免ス
局長ハ知事ノ命ヲ承ケ局務ヲ統理ス
次長ハ局長ノ命ヲ承ケ局務ヲ指揮監督ス
局員ハ局長及次長ノ命ヲ承ケ局務ヲ處理ス
局員ハ特ニ指示スルモノヲ除ク外渉外事務局ニ常勤スルモノトス

第七條 第四條ニ定ムル各部ノ分掌事項及主務係長ヲ左ノ如ク定ム

總務部

一 接遇ニ關スル事項	人事課長
二 經理ニ關スル事項	總務課長
三 設営ニ關スル事項	庶務課長
四 各部各係間ノ連絡調整ニ關スル事項	人事課長
教育民生部	

1. 教育ニ關スル事項

總務課長

2. 勞務ニ關スル事項

勤勞課長

3. 衛生防疫ニ關スル事項

衛生課長

4. 支那人朝鮮人等ノ送還ニ關スル事項

厚生課長

物資部

食糧其ノ他ノ物資ニ關スル事項

關係各課長

保安部

1. 警備及通信ニ關スル事項

警務課長

2. 慰安及電氣ガスニ關スル事項

保安課長

3. 輸送ニ關スル事項

輸送課長

4. 防犯ニ關スル事項

防犯課長

土木部

1. 道路ニ關スル事項

道路課長

2. 港灣、河川、水道ニ關スル事項

河港課長

3. 家屋ニ關スル事項

住宅課長

4. 其他土木ニ關スル事項

關係各課長

附則

務局勤務トナル

本令發令ノ際現ニ通譯ノ業務ニ從事スル者ハ岡山縣涉外事

陸軍總務部總務課

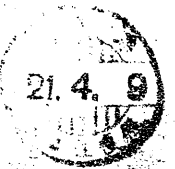
警務部

警務部第二三號

昭和二十一年三月二十二日

鳥取縣知事 林敬

(警務部長)



A-1-0-0-2

吳進駐了タル濠洲空軍駐

濠洲空軍進駐豫定ニ關スル件

內務省警務局長

陸軍省警務局長

陸軍省警務局長

陸軍省警務局長

陸軍省警務局長

陸軍省警務局長

殿

(縣下各警察署長)

少イシグ司令

レイモンド中佐

同空軍付

飛行中尉

H. A. カネル

外三名

三月十九日管下米子市ニ来リ

福知山地方事務所長ニ對シ

「近々美保航空基地ニ濠洲空軍進駐ニ決定

セルヲ以テ尤モ事項ヲ要求ス」ト

1. 美保基地ニ格納庫及兵舎ノ修理改築

2. 木柵、電気器具水道、便所、暖房装置

等設備資材ノ準備

3. 工事請負人 三名位

4. 美保飛行基地ノ圖面

5. 經費 七五萬円位

ヲ要求、同日カネル中尉ハ鳥取縣廳ヲ訪問
 翌日(三月二十日)ハ現地視察ヲ実施スルト共ニ兵舎
 談話ニ關シ日本側ト具體的打合ヲ行ヒ、四、五日
 滞在ノ豫定ナルガ、現在管下西伯郡大降津村美
 保航空基地ニ米軍百名(隊長ハオースター中尉)駐
 屯中ニシテ濠洲空軍ハ大体本年六月頃迄ニ兵力
 二千名以上進駐ノ豫定ニシテ先發隊約二百名ハ
 一ヶ月後進駐ノ模様ナリ
 尚未ダ決定ニ至ラサルモ豫軍山陰進駐後ハ現在松江
 市ニ駐屯セル米軍ハ鳥取市ニ移駐鳥取市駐屯部
 隊ハ六百名程度ニ増加スルトハ同評アリ(現在兵力百二十名)

右本縣進駐兵力増加ニ關シテ既ニ巷間種々風
 説ヲ為スモノアルモ、民心ハ平靜ニシテ、縣ニ於テモ本
 件ニ關シテ一取ノ指導誘掖ニ萬遺憾ナキヲ期ス
 リ候奈此段及申(通)候也

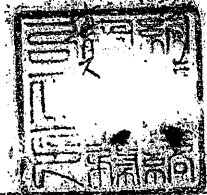
終戦連絡部記録簿

岡連第ニテ端

昭和二十一年三月二十四日

終戦連絡岡山事務局

連絡官 井澤



終戦連絡中央事務局

総裁 吉田茂殿

兵力、移動ニ関スル件

一従来岡山駐屯米軍第三戦術聯隊ヲ中心トシテ第三工兵大隊、オユエ砲兵中隊及附屬、補給其他、部隊ナリシカ二月十五日松山ヨリオ二十四師團司令部及附屬諸部隊

A:1-0-0-2

移駐シ来リ推定兵力約八千人ニ達シタリ

二其後オヨソオ九十四軍政集團移駐シ来リ四国及岡山、島取、島根、備前ヲ管轄スル上級軍政府トシテ三月十日

事務ヲ開始セリ

三然レ最近オ三十七軍政部將校、以テ之ニ依リオ三十四

師團ノ主力ヲ神戸ニ移シ一部姫路ニ進駐シ岡山ニ、英濠

軍進駐シ来リ米軍トシテオ三十七軍政部ノミトシテオ

趣テシカ夫レカアラヌカ岡山練兵場ニ設クテ工シテ組立式

陸軍病院ニ解体ヲ始メ、伴將校カ請負師ニシテ之ニ依リ

古病院、姫路ニ移轉建築スル趣ナリ

タイフ用

四 二月中旬英濠軍先遣隊岡山に到着し凍藏工場倉庫ヲ
 牛肉貯藏所ニ借入契約ヲシテ其他目下三千キカラビラ
 ・平方ノ倉糧倉庫ヲ物色中ナリ
 五 三月二日事務ヲ開始セシカ九十四軍政集團ハ多分来日早
 岐阜ニ移轉シ軍ナル軍政中隊トシテ若クハ勤ニテ移轉準備
 備中ナリ
 六 他方進駐軍家族ノ住宅竣工迄ノ期間住宅必要ナリトテ
 カノ十四師團司令部ニテ引續キ家屋ノ物色ナレテ尙シ度
 右ハ必スシテ英濠軍ノ為トモ思ハレカシ節アルニテ米軍ハ
 全部撤退スルモノニアラスレテ一部ハ所殘ルモノニ非ズヤトモ

タイフ用

推察セシム

七 兎ニ角最近米軍ノ動靜ニ顧ミ相当兵力ハ神戸及姫路ニ
 移駐スルモノハ尙遠キヤモト認ナラシ、度々事態ニ對應シテ
 神戸事務局ノ強化ハ此ノ際是非必要ト思考セラル
 右報告ス

別紙

A'1.0.0.2

終戦連絡部

山口弁一號

昭和二十一年五月二十四日

終戦連絡山口出張所

所長 吉竹貞

終戦連絡中央事務局總裁吉田茂殿

山口縣下進駐軍兵員数報告の件

本件に關して別紙の通り報告する

寫送付先 兵事務局長

第 261

21.5.30

記帳簿

進駐軍兵員概数 (五月二十四日)

進駐場所	進駐月日	現在人員	増加見込	計	備考
山口縣 岩國市	十月十日	四五〇〇		四五〇〇	
熊毛郡 佐賀村	四月十日	一五〇〇		一五〇〇	
光			一五〇〇	一五〇〇	
防府市	十月七日	四〇〇〇		四〇〇〇	
山口市	"	二五〇〇		二五〇〇	
小野田市	"	三〇〇		三〇〇	
下関市	十月二日	三〇〇〇		三〇〇〇	
豊浦郡 小市			二〇〇	二〇〇	
大津郡 仙崎町	十月十日	一〇〇		一〇〇	
大津郡 三隅町	"	一〇〇		一〇〇	

合計	大島郡 小松町	秋野郡 柳井町	吉敷郡 東岐波村	阿武郡 須佐町	萩市
					十月十五日
一五、九〇〇					二〇〇
三、三〇〇	五〇〇	二〇〇	五〇〇	一〇〇	
一九、二〇〇	五〇〇	二〇〇	五〇〇	一〇〇	二〇〇

山口分二號

昭和二十一年五月二十四日

終戦連絡山口出張所

所長 吉竹貞

終戦連絡中央事務局總裁吉田茂殿

Times, News Magazine, Okinawa Express
 爾今表記英文雜誌並三新聞各一部配付方御取計
 左請示

配付方依頼件

17

夕四国地区遊覧案内

昭和二十年十月二十七日

松山連絡事務所

連絡官 伊藤憲三

終戦連絡中央事務局

總務部長 井口貞夫殿

一進駐軍ハウンドラフ少將 (Major General)

麾下ノ第二十四歩兵師團ニシテ

二十一日船團三津浜沖入港 M.P.ヲ主トシ

一部上陸開始 二十二日兵團ノ大部上陸ニ

十六日揚陸完了 總兵力一カ二千進駐狀

況順調ニ進捗シ 現在迄何等大ナル事故

海軍

(英漢辭紙乙)

A-1-0-0-2

ノ發生ヲ見ズ 只上陸兵ノ微發等小事故

数件アリタルノミ

二 二十二日ヨリ進駐軍司令部業務開始 今日

日本側各機關ニ別紙(甲)ノ如キ指令ヲ

手交セリ

三 二十五日司令部ヨリ申出ニ依リ四國總監及ビ

各地方長官等參集(木村總監 大畑第三

部長、西岡副參事官、岡田德島縣知事、

高島香川縣内政部長、土肥愛媛縣知事、

鈴木愛媛縣官房主事、橋本高知縣内

政部長、連絡事務所ヨリ本官出席

ハウンドラフ少將ト會見 今少將ヨリ別紙

(乙)ノ如キ指令ヲ交付セリ 尚四國軍管區

(英漢辭紙乙)

海軍

司令官原田中將、鑄木參謀長、西原參謀、高原大佐、海軍内海航空司令木林少將、三井參謀等右ニ陪席セリ
 四兵器接收ニ関スル視察ノ爲進駐軍ヨリ及十二名宛高知、徳島、高松ハ向ケ二十八日出發ノ予定ナリ

本信寫京都事務局ハ送付セリ

(英機野紙乙)

海軍

HEADQUARTERS 24TH INFANTRY DIVISION
Office of the Commanding General

APO 24,
21 Oct. 1945.

Subject: Commanding Generals Instructions.

TO : Shikoku Governor, Mayor of Matsuyama, Mayor of Gunchu.

1. All relations between the government of Shikoku Kens, Shi Machi and Mura and the military authorities will be handled by Headquarters 24th Infantry Division.

2. The Governor of Shikoku will immediately initiate action to assemble information for presentation to G-5 by 1200 24 Oct. 1945 on the following:

- a. Government structure, personnel, function.
- b. Police organization, personnel, price control, rationing, price ceilings (15 Aug 45), collection of fire arms, fire protection and equipment and civilian organizations.
- c. Legal compliance with all directives initiated by Supreme Allied Commander.
- d. Condition of Shikoku and Municipal Utilities.
- e. Condition of roads, railroads, airfields, including all transportation and communications facilities.
- f. Availability of labor by classifications.
- g. Situation concerning civilian

feed, clothing, and medical supplies stocks and anticipated shortages.

h. Financial status of banks, industry and municipalities.

i. Public Health, Welfare and Sanitary conditions.

j. Status of Education and Institutions.

3. The Mayor of Matsuyama will:

a. Render every assistance in the billeting and establishment of the Occupation Force.

b. Provide facilities, equipment, personnel and information as required.

c. Direct the Chief of Police to enforce enactment of directives from the Supreme Allied Commander and from the Commanding General.

d. Prohibit civilian use of beaches, routes and highways specified for military use during troop movement into area.

4. The Mayor of Gunchu will:

a. Prepare for the visit of 450 to 600 Navy personnel in accordance with the following schedule:

23 Oct 45		1230-1400
24 Oct 45	0800-1200	" "
25 Oct 45	" "	" "

b. Inform Chief of Police to prevent sale of merchandise above price ceilings established 15 Aug 45, and to prohibit trade for US Government Property.